

# 日本看護歴史学会 会報

日本看護歴史学会  
第30号  
1998年6月8日

## 第一二回看護歴史学会大会

### 「戦後看護教育の検証」を九州大分県で

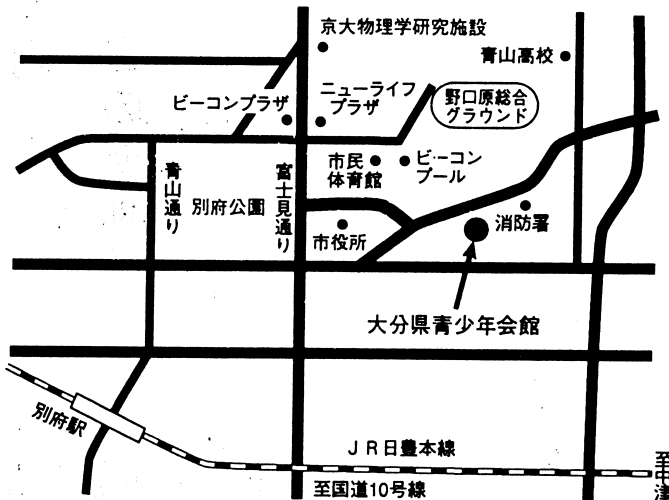
江崎 フサ子

近代看護婦誕生から一一〇年、そして戦後五三年目の今夏、「戦後看護教育の検証」をメインテーマとして第一二回看護歴史学会を大分県別府市で開催いたします。昨夏の京都では、「保健婦助産婦看護婦法制定五〇年の証言」として、まさにこの時代を生きてこられた金子光氏、榊秀子氏、林みどり氏が臨場感あふれる証言をされました。参加者の多くが、自分の来し方を手繰り、現在地を確認することができました。こうした経緯から、時宜的にも戦後の看護教育を振り返る機会の必要性を痛感し、今学会のテーマを上記に決定した次第です。具体的には、現

在、看護教育界の課題である看護婦養成廃止の問題と看護基礎教育の大学化の動向を中心に据え、これらの出発点に焦点を当てて、看護教育の戦後から現在、そして今後を考える機会にしたいと考えています。本学会の会報二一号に五十嵐氏の「戦後五〇年に思うこと」、GHQの看護指導体験記」があります。GHQ（連合軍総司令部）の看護指導者が、日本の医師や看護婦に看護の本質を説き指導している様子が読みとれます。こうしたGHQの指導のもと、日本の看護や教育は如何なる変革を遂げ、現在の看護にどのような明暗をもたらした

のか、また、GHQ撤退後に生じたことは何かなど、体験者の証言をもとに理解を深めたいと思います。本学会では、証言者およびそのお立場として、金子光氏（看護行政の立場から）、有田幸子氏（元日本看護協会会長の立場から）、大森文子氏（准看護婦制度の問題について）、林千冬氏（准看護婦制度について）、日野原重明氏（医師の立場から）の六氏にご登

場をお願いしました。各氏は、ともに戦後の歴史を背負いながら後輩の育成を使命とされ、私たちに看護の展望を示唆して下さいました。ご体験からは、どのような証言やエピソード、秘話が飛び出すでしょう。会員・非会員の皆様のご参加を湯の町別府でお待ち申し上げております。



大分県青少年会館  
〒874-0905 大分県別府市上野口町19-20  
TEL 0997-21-4416

#### 交通手段

- 大分空港よりエアライナー（バス）約30分北浜下車→タクシー5分（約600円）
- JR 別府駅より西口（山の手口）よりバス①②⑦番から鉄輪（かんなわ）行きに乗車、野口原下車

# 第二二回 日本看護歴史学会大会開催案内

## メインテーマ「戦後看護教育の検証」

会報第二九号でご案内しましたとおり、第二二回大会は大分県別府市で開催します。

今大会は現在の看護教育にとって変換点ともなり得る大学化への進展と准看護婦養成制度に焦点を当てて歴史的に検証します。

### ◆開催期日

平成一〇年八月七日(金)～  
八月八日(土) 両日

### ◆会場

大分県青少年会館(地図参照)  
〒874-0905  
別府市上野口町一九一(二〇)  
TEL〇九七七-二二-四四一六  
FAX〇九七七-二二-四四一八

### ◆大会プログラムの概要

#### 第一日目 八月七日(金)

午後〇時三〇分 受付開始  
午後一時 開会  
午後一時一五分～四時三〇分

### 証言

「戦後看護教育の検証一」

コーディネーター

小玉香津子氏

証言者の方々

金子 光氏

有田 幸子氏

午後四時四五分～五時三〇分

総会

午後五時三〇分～八時

自由集会

#### 第二日目 八月八日(土)

午前九時一五分 開会  
午前九時二〇分～一〇時五〇分  
会員による研究発表

座長 玄田 公子氏

午前一一時～一二時三〇分  
懇親会

午後〇時四〇分～二時四〇分

証言二

「戦後看護教育の検証二」

コーディネーター

亀山美知子氏

証言者の方々

日野原重明氏

大森 文子氏

林 千冬氏

午後二時四〇分～四時三〇分

放談会

コーディネーター

亀山美知子氏

証言者の方々による放談

午後四時三〇分 閉会

(総合司会は両日共高田節子氏)

### ◆大会参加申し込みについて

参加を希望される方は、氏名(複数連名可)を明記の上、所定

の参加費等を同封の振込用紙にて、七月二〇日(月)までに送金下さい。なお、郵便局備え付けの振込用紙でも申し込みができます。その場合は、通信欄に氏名および参加費の内訳を必ず記入して下さい。

郵便振替口座番号

〇〇九〇〇-二一四二九九

日本看護歴史学会(大会用)

※大会参加用と学会年会費用の振替口座番号は異なりますのでご注意ください。

### ◆大会参加費

会員 三〇〇〇円  
非会員 四〇〇〇円  
学生(大学院生を含む) 二〇〇〇円  
懇親会 一五〇〇円

### ◆研究発表の申し込みについて

研究発表を希望する方は、左記の要領で、封書の表に「研究発表希望」と朱書きの上、お送り下さい。

#### ・演題名

・氏名 所属 会員番号

(共同研究者も含む)

・要旨 八〇〇字以内

・申し込み締め切り

六月三〇日(火) 当日消印有効

・送付先  
〒602-0857  
京都市上京区清和院口寺町  
東入る中御霊町四一〇  
京都府立医科大医技短大部  
日本看護歴史学会事務局  
岡山 寧子宛

※研究発表は、スライドやOHPは使用できません。必要時、各自で当日配布資料を準備して下さい。その他、発表についての詳細は、申し込みをされた方に個別にお知らせします。

◆自由集会（分科会）  
分科会は従来の形式を少し変えて自由集会となりました。大会第一日目の総会終了後、同会館内でテーマ別を実施します。

- ・話題提供
- ・テーマ
- ・氏名 所属 会員番号
- ・要旨または呼びかけ (一〇〇字程度)

・申し込み締め切り  
六月三〇日（火）当日消印有効  
・送付先  
〒675-0101  
兵庫県加古川市平岡町新在家  
二二〇一 兵庫大学短期大学部  
山崎 雅代宛

※自由集会は、会員の皆様の日頃研鑽されている関心分野についての話題提供によって、研究手法の検討、資料の発掘、文献等の情報提供等幅広い意見交換の場です。

看護改革の行方を見失わないよう、それぞれの歴史の中でしっかりと見据えていきたいものご期待し、自由集会を盛り上げていただければと願っています。そしてここからまた看護歴史研究にとさらに発展されることを大いに期待しています。

◆宿泊について  
本学会では、特に宿泊施設は紹介しませんが、観光地なのでホテル・旅館は多数あります。

なお、会場となる大分県青少年会館にも宿泊施設があります。希望される方は、会館にお問い合わせください（会館の住所等連絡先は地図参照）。

◆別府市（大会会場）への交通  
電車の場合、山陽新幹線小倉駅より日豊本線にて別府駅まで約一時間、別府駅から車で一〇分。  
飛行機では、大分空港からエアライナー（バス）利用等で約五〇分かかります。

編集委員会からのお知らせ

◆学会誌第一二号の原稿募集  
学会誌の充実をはかるために、日頃の研究成果をご発表下さい。未発表のもので、原稿用紙五〇枚以内に限りま。編集委員会の判断により、校正を求める場合があります。詳しくは投稿規定を参照して下さい。投稿規定は、学会誌に掲載していますが、ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

投稿の際には、封書の表に「応募原稿在中」と朱書きの上、お送り下さい。

なお、投稿された原稿は返却しませんのでご注意下さい。

- ・応募締め切り  
九月三〇日（水）当日消印有効
- ・送付先  
〒602-0857  
京都市上京区清和院口寺町  
東入る中御霊町四一〇  
京都府立医科大医技短大部  
日本看護歴史学会事務局  
岡山 寧子宛

会員の移動等について

◎新入会員

塚原 浩子 (No.97-006)  
〒723-0053 広島県三原市学園町 一〇一

広島県立保健福祉短期大学

岡崎美智子 (No.97-017)  
〒803-0983 北九州市小倉南区志徳 二一四一二四一五〇一

西南女学院大学

寺島 小夜 (No.98-001)  
〒584-0071 大阪府富田林市藤沢台 六一二二一七

(〇七二二二八一五四一三)

◎勤務先・自宅住所等の変更  
大平 政子 (No.87-022)  
〒486-0833 春日井市上条町 三一二四一二

サンハウス春日井駅五E

渡山 恵子 (No.87-055)  
〒897-0002 鹿児島県加世田市武田 一八二六六

コーポマコト二一二

鈴木美恵子 (No.87-094)  
〒724-0695 広島県加茂郡黒瀬町 学園台五五-三六

広島国際大学保健医療学部



- 玄田 公子 (No.87-096)
- 〒612-8083 京都市伏見区京町三一九〇-一六〇六
- 川島 和子 (No.88-019)
- 〒338-0001 与野市上落合八-一〇-一-一五〇三
- 小玉香津子 (No.88-024)
- 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄一番地
- 名古屋立大学事務局看護学部 設立準備室
- 瀧内 隆子 (No.94-001)
- 〒010-1406 秋田市上山手猿田宇苗代沢一七-三
- 内田 卿子 (No.95-005)
- 〒120-0015 東京都足立区足立二-三七-一-二一六〇-一
- 本間可南子 (No.97-006)
- 〒514-1101 三重県久居市明神町二-一五八-一五
- 国立津病院附属三重中央看護学校 (〇五九-二五九-一七七)
- ◎退会
- 渡部喜美子 (No.88-012)
- 野矢美佐子 (No.91-009)
- 遠藤 直子 (No.95-009)

事務局からのお知らせ

◆住所変更の場合、ファックスでも結構ですので、必ず事務局へご連絡ください。

◆本会の出版物をお求めの方は、事務局へご連絡下さい。

・『日本看護歴史学会会報』創刊号より第二九号まで可

領価 一部 二〇〇円  
送料 一部 八〇円

・『日本看護歴史学会誌』第二号より第一一号まで可

領価 一部 五〇〇円  
送料 一部 二四〇円

・『看護婦発祥百年記念アルバム・看護婦の歩み』

領価 一部 五〇〇円  
送料 一部 二四〇円

※お求めになった出版物に振込用紙を同封しますので、送金下さい。また、直接左記の郵便振替口座に送料込みの価格(ご希望の出版物を必ず明記)をお振り込みいただいても結構です。

郵便振替口座番号  
〇一〇一〇一-一五二一八五  
日本看護歴史学会

◆会費納入のお願い

本年度の会費(四〇〇〇円)をまだ未納の方は納入お願いします。未納額の確認をされたい方は、会計の大平政子氏(〒467-0001 名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄一番地 名古屋立大学看護短期大学部)へお問い合わせ下さい。

なお、会則第六条の規定により、年会費を三年以上滞納した方は、会員の資格を失うこととなりますのでご留意下さい。

◆住所録作成に当たって

今年は、幹事選挙の年でもあり、従来通り住所録作成の準備をすすめています。最近には特に住所変更が多く、事務局でも混乱しており、会員の皆様には多大なご迷惑をおかけしていることと申し訳なく思っております。

つきましては、より正確な住所を把握するために同封の葉書をご確認の上(訂正箇所を朱書きで訂正)、六月末までにご返送くださるようお願いいたします。

幹事選挙については、見直しの必要ありとの声も多く、幹事会でも検討しつつあり、第一二回大会総会において一議題となる予定です。皆様の忌憚のないご意見をよろしく願います。

◆出版のご案内

かねて準備をすすめていました『検証―戦後看護の五〇年』(日本看護歴史学会編 メヂカルフレンド社発行 三六〇〇円)が出版されました。一読をおすすめします。

◆第一二回大会は、初めて九州は別府市で開催されます。「戦後の看護教育」という切り口での成り立ちから歴史的経過について多くの証言をいただきます。八月の別府はとても暑いというのですが、それに負けないくらい看護歴史についての熱い議論が展開されることを期待しております。

日本看護歴史学会会報第三〇号 編集責任者 発行責任者 岡山寧子・福本 恵 京都府立医科大学 医療技術短期大学部	事務局 〒602-0857 京都市上京区 清和院口寺町東入 京都府立医科大学 医療技術短期大学部 岡山寧子・福本 恵
--	--

TEL 〇七五-二二-二一五四二  
FAX 〇七五-二二-二一五四二 (岡山)